



第一地区の歴史文化調査委員会では、「地域が残していきたいものは何か」を中心として、一年間活動してきました。そのまとめとして、第一地区の地図に、現存する文化財の場所・地点を落とし込みました。ある程度予想はしていましたが、文化財の大部分は、江戸時代から続く街並みに沿って分布していることが明らかにになりました。

「文化的景観」は、城下町の風情を残している地域で、中町の蔵造りが並ぶ通り及び道路の『くいちがい』があります。

地域の歴史的的魅力発見

第一地区歴史文化調査を終えて



「有形民俗文化財」は、民間に伝承されてきた物で、前記同様主要街並み沿いに分布しています。

「無形民俗文化財」は、民間に伝承されてきた我々の一

番身近なもので、三九郎・あめ市・節分・青山様・ぼんぼんなどありますが、周辺の町会では一部行われていないところもあります。

お祭りは、地域によっていろいろあり、舞台の巡行が行われるところもあります。

また風習となつて年々末年始(初音、初荷)・お雛様・節句・盆・月見等があり、一

部は思い出(郷愁)の領域になつていれるものもあります。

人々の活動は時代により変わり、バイパスの

できた旧道、現代では使にくい山道、急坂、また景観の保存地域では有形文化財が比較的保存されています。しかし、私達の住む市街地は、多くが道の拡幅、区画整理等により、旧来の建物、蔵等が移転、または取り壊されてきました。

このスクラップ&ビルドにより、遺構・出土品は、近代の物が比較的残り、縄文・弥生時代等古代の物は、中世の活動により壊され残っていないものと推測されます。(尖石縄文考古館学芸員の話)

文化財は、我々が意識していないと、埋没・廃棄等してしまい、伝承が中断あるいは無くなってしまう事も起こります。

我々歴史文化調査委員会の活動は一旦終了し、松本市全体のまとめにより、今後の方向付けをして行く予定です。

これで終わりではありません。常に文化財に対する興味を持ち、ご協力いただければ幸いです。

平成27年5月1日現在

世帯数:	871戸(+37)
人口:	1607人(+58)
男:	778人(+33)
女:	829人(+25)

部は思い出(郷愁)の領域になつていれるものもあります。

人々の活動は時代により変わり、バイパスの

できた旧道、現代では使にくい山道、急坂、また景観の保存地域では有形文化財が比較的保存されています。しかし、私達の住む市街地は、多くが道の拡幅、区画整理等により、旧来の建物、蔵等が移転、または取り壊されてきました。

このスクラップ&ビルドにより、遺構・出土品は、近代の物が比較的残り、縄文・弥生時代等古代の物は、中世の活動により壊され残っていないものと推測されます。(尖石縄文考古館学芸員の話)

文化財は、我々が意識していないと、埋没・廃棄等してしまい、伝承が中断あるいは無くなってしまう事も起こります。

我々歴史文化調査委員会の活動は一旦終了し、松本市全体のまとめにより、今後の方向付けをして行く予定です。

これで終わりではありません。常に文化財に対する興味を持ち、ご協力いただければ幸いです。

第一地区 行事あれこれ

春のマレットゴルフ大会
4月26日

今回も熱戦が繰り広げられました!

第4回料理学習教室
「日本の食文化を味わう〜精進料理〜」
3月4日

精進料理をいただいた後、善光寺に参拝しました。

春の健康のつどい
3月10日

熱くなります!バスケピンポン。

ふれあいにここにご会食会①
3月12日

美味しくお昼をいただくために、大きな動きでラジオ体操!

春のデジカメ講座
4月17日

花は散り際がきれい!

フラワーアレンジメント講座
3月13日

男性陣も頑張ります。ホワイトデーのプレゼントかしら?

ふれあいにここにご会食会②
3月12日

今年は役員さんが手作りのみそ汁を用意

「行事など情報をお寄せください。写真を掲載させていただきます。」

地域の縁を大切に

えん
〜開館5周年を迎えて〜

木々の緑が深まってまいりました。日頃は公民館事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第一地区公民館（現在、地域づくりセンターが同室）は、平成22年に地区公民館として開館し、本年4月1日をもって満5年という一つの節目を迎えることができました。

開館当初は、地区の皆様へ「公民館の存在を知っていただき」「公民館はこんなことをする所ですよ」などから始まりました。以降、皆様のより所となる公民館を目指し、第一地区町会連合会様を始め諸団体様や公民館委員様のご支援ご協力をいただきながら事業を進めてまいりました。

第一地区は、現在、少子高齢化、独居者の増加、買い物困窮者、地域活動の担い手不足、また、要援護者の見守りや災害時の助け合いなど、多くの課題を抱えています。

そのような背景から、地区の皆様が、今何を思い、公民館に何を期待しているか、などを聞きしながら事業を進めているところです。

公民館は、地域づくりの一端を担うために「地域の課題解消に向けての学習機会の提供、生涯学習の支援」という大きな役割があります。

公民館は、これから5年後、10年後に向けて「地域の縁を大切に」職員一同努力してまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。



平成22年4月1日 開館

平成23年 学校サポート事業スタート
謙田小学校
七夕人形作り教室



平成25年 地区の紹介ビデオと 史跡マップ作りました。



平成24年8月7日 この年からふれあい盆踊りの 夕べと青山様・ほんほんが 同日開催となりました。



平成26年 地域づくりセンター併設

中町商店街振興組合

経済産業省 平成26年度 「がんばる商店街30選」 に選ばれました！ おめでとうございます。



表彰状を持つ佐々木理事長と 盾を持つ清澤副理事長

蔵造りの街並み整備や町会と連携しながらの長期的な視点のまちづくりを行い、電線の地中化、オリジナル日本酒の開発、英語パンフレット作成など外国人観光客への対応にも積極的に取り組んでいる点が評価されました。 周辺の商業環境が変わる状況であっても、個々の店主が魅力ある個店づくりに励み、お互いに協調し合うことで活性化していきたいとのことです。

館報委員会写真部発足!!

本町の信毎松本本社建設、中条の跨線橋架け替え工事など、地区の景色が様変わりしようとしています。 地区の変わりゆく様子を記録する体制を強化することを目的に、公民館は5周年を迎えたことを機に、写真部を設置します。 また、写真講座も主催し実施していきます。 この機に、一緒に写真部員になりませんか？



電車通り

大和ミュージアムや「坂の上の雲」でおなじみの広島県呉市では今、官民挙げての面白そうな街づくりが始まった。「呉海自カレー」。呉を母港とする海上自衛隊の艦船は40を数えるが、艦内で提供されるカレーにはそれぞれに秘伝のレシピがあり、自衛隊の調理員の指導のもとに再現されたカレーが、スタンプリー方式で市内のレストランで提供されているとのことである。その地域ならではの個性と国民食であるカレーを掛け合わせることで、市民にも観光客にも愛される新たな地域資源・グルメの誕生である。これを松本に置き換えてみると、「岳都松本山小屋カレー」。冬場の観光の閑散期に、冬季閉鎖中の岳都松本ならではの山小屋に伝わるカレーを街なかのレストランでスタンプリー的に提供するのであれば、夏場に山小屋を訪ねる動機づけにも、閑散期の飲食店の販売促進にも、観光客や市民のレジャーにもつながりそうである。この冬の「松本カレーラリー」も好評だったと聞く。面白いチャレンジになるかもしれない。